

The U.S.-Japan Alliance Facing Regional and Bilateral Challenges

日米同盟：地域と二国間における課題

日米関係は、北朝鮮による核・ミサイル計画や日本の国益に逆行する形で攻勢を強める中国の台頭など、北東アジアで高まる安全保障上の脅威に直面しています。同時に、通商面においても、日米の緊張が再び高まっています。日米関係は、このような課題に対処すべく、今後も進化をとげていくことができるのでしょうか。また、強固な2国間関係の礎となってきた要素は、このようなリスクに今後も対応し得るのでしょうか。

日米関係を専門に研究するワシントン唯一のシンクタンクのチーフ・エグゼクティブ・オフィサー(CEO)として1年半にわたり活躍するジェームス・ズムワルト元大使が、自身の36年間におよぶ外交官生活に基づき、日米関係を分析します。

11/5 (月)

対象者：全学生(学部生・大学院生)

言語：日本語

16:30~18:00

事前申込不要

会場

川内北キャンパス
講義棟B棟 B103教室

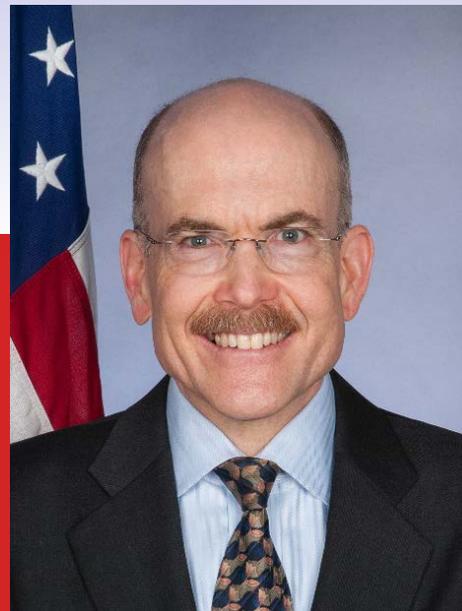
プロフィール

ジェームス・ズムワルト 元大使

ジェームス・ズムワルト元大使は、2017年2月、笹川平和財団米国CEOに就任した。2015年から2017年1月まで、駐セネガル共和国兼駐ギニアビサウ共和国米国大使を務めた。大使着任前は、国務省東アジア局次官補代理として対日・対韓国政策を担当。2011年の東日本大震災の際には、在日米国大使館首席公使として、日本政府の震災対策を支援する米国政府の調整役を務めた。

外交官生活は36年間に及び、その間にワシントン、東京、北京、キンシャサ、ダカール、ビサウで主にアジアおよび国際経済に関する様々な任務に携わった。ワシントンでは、国務省東アジア太平洋局日本部、同局韓国部、同局フィリピン部のほか、同省経済・ビジネス局、米国通商代表部でも勤務した。日本語、フランス語に堪能で、中国語も話す。

1998年にナショナル・ウオー・カレッジで修士号(国際安全保障学)、1979年にカリフォルニア大学バークレー校で学士号(米国史と日本語)を取得。カリフォルニア州エルカホン出身。夫人のアン・カンバラは元国務省外交官。現在は退職し福祉活動に従事している。



主催：在札幌米国総領事館、東北大学 高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンター

問い合わせ：教育・学生支援部 留学生課 海外留学係 022-795-4817 / tgl@grp.tohoku.ac.jp